

教育研究業績概要

氏名 林雅彦 ()		
研究分野	所属学会等の名称	
地域医療、高齢者薬物療法、薬物動態、依存性薬物	日本医療薬学会、日本薬理学会、日本 TDM 学会、日本癌治療学会、日本老年医学会、日本薬学会、日本腎臓病薬物療法学会、日本老年薬学会、日本薬学教育学会、日本医薬品安全性学会、日本病院薬剤師会、日本薬剤師会、日本禁煙科学会	
担当授業科目名		
地域医療論、医療人底力実践（基礎Ⅰ）、医療人底力実践（基礎Ⅱ）、実践処方解析学、事前実習、セルフメディケーション学、病院実務実習、薬局実務実習、薬学特別演習Ⅰ/Ⅱ、薬学特別演習Ⅱ（再履修クラス）、薬学総合演習、薬局経営学、卒業研究、実践的医療薬学演習、フィジカルアセスメント学内実習		
教育上の能力に関する事項		
事 項	年	概 要
1 教育の実践例、教育に関する評価等 授業の工夫 実習	2012 年から現在まで 2012 年から現在まで	補助教材（プリント）の作成、および理解度確認テストの導入 実習書の作成
2 作成した教科書、教材、指導書等 腫瘍薬学 コンパス 調剤学 改訂第 2 版 医療人の底力実践 鈴鹿医療科学大学編 第 2 版 早期臨床体験テキスト セルフケアと OTC 医薬品 改定 8 版 薬物治療学 2019-2020 モデル・コアカリキュラムに沿った わかりやすい新実務実習テキスト 改定 9 版 薬物治療学 コンパス調剤学 ー実践的アプローチから理解するー	2010 2015 2017 2017 2017 2019 2019 2020	第 19 章「がん患者の感染管理」P 483-497. 川西正祐、大井一弥、 <u>林雅彦</u> 他 第 6 章「TDM と処方設計」P 203-215. <u>林雅彦</u> 、八重徹司 他 第 5 章「薬物」P 89-96. 第 6 章「タバコ」 P 97-103. 藤原正範、 <u>林雅彦</u> 他 第 5 章「医療施設などにおける薬剤師の役割」Ⅰ 病院における薬剤師の役割、Ⅱ 薬局における薬剤師の役割 P 31-39. <u>林雅彦</u> 、大井一弥 他 第 8 章「生活習慣病に伴う症状」8-1 肥満 P158-162. 8-2 脂質異常 P163-167. <u>林雅彦</u> 、成井浩二 他 第 19 章「消化性潰瘍（胃・十二指腸潰瘍）」P 153-167, 第 20 章「胃食道逆流症」 P 168-171, 第 21 章「胃炎」 P 172-177, 第 22 章「腸炎（急性腸炎）」P178-188, 第 25 章「過敏性腸症候群」 195-200. 吉尾隆 大井一弥、 <u>林雅彦</u> 他 第 2 章 処方せんに基づく調剤 「3 処方せんに基づく医薬品の調製」 P 117-121, P 134-139. <u>林雅彦</u> 、寺町ひとみ 他 第 19 章「消化性潰瘍（胃・十二指腸潰瘍）」P 157-171, 第 20 章「胃食道逆流症」 P 172-175, 第 21 章「胃炎」 P 176-181, 第 22 章「腸炎（急性腸炎）」P182-192, 第 25 章「過敏性腸症候群」 199-204. 吉尾隆 大井一弥、 <u>林雅彦</u> 他 7 章 TDM と処方設計 P 209-224. <u>林雅彦</u> 、八重徹司 他

<p>医療人の底力実践</p> <p>改定 9 版 薬物治療学</p> <p>他 10 件</p>	<p>2020</p> <p>2020</p>	<p>第 2 章 医療人底力実践 (発展プログラム) =チームで学び、成果を得る喜び、意義を知る</p> <p>第 3 講プレゼンテーション</p> <p>福田八寿絵、河尻純平、林雅彦 他</p> <p>第 19 章「消化性潰瘍 (胃・十二指腸潰瘍)」P 157-171, 第 20 章「胃食道逆流症」P172-175, 第 21 章「胃炎」P 176-181, 第 22 章「腸炎 (急性腸炎)」P182-192, 第 25 章「過敏性腸症候群」P 199-204. 吉尾隆大井一弥、林雅彦 他</p>
<p>3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等</p> <p>麻薬・危険ドラッグ防止委員会委員</p> <p>平成 29 年度新任薬剤師研修会 (三重県病院薬剤師会) 「TDM と処方設計実技」 【講師】</p> <p>平成 29 年度末就業薬剤師研修会 (三重県薬剤師会) 「バイタルサイン実習」「デバイスを使用した服薬指導」 【講師】</p> <p>平成 29 年度末就業薬剤師研修会 (三重県薬剤師会) 「paper patient (糖尿病、高血圧、認知症) の症例検討」「デバイスを使用した服薬指導」 【講師】</p> <p>平成 30 年度第 1 回注射剤の無菌調製研修 (実技) (三重県薬剤師会) 【講師】</p> <p>平成 30 年度新任薬剤師研修会 (三重県病院薬剤師会) 「TDM と処方設計実技」 【講師】</p> <p>平成 30 年度在宅アドバンス研修会 (三重県薬剤師会) 「卓上型無菌調製」 【講師】</p>	<p>2012 年から現在まで</p> <p>2017</p> <p>2018</p> <p>2018</p> <p>2018</p> <p>2018</p> <p>2019</p>	<p>2012 年 4 月から、麻薬・危険ドラッグ防止啓蒙講演会で「薬物乱用の恐ろしさ」という演題で、学科ごとに年 5 回講演を行った。</p> <p>感染症における薬学的介入方法と抗 MRSA 薬の解析方法について説明を行った後、モデル感染症症例を題材として感染部位、起因菌、重症度、抗菌薬の選択について小グループ単位で考えさせ、抗菌薬の処方設計プランを立案させた。結果をグループ単位で発表した後、討論させた。引き続き、TDM 解析ソフトを用いて塩酸バンコマイシンの初期投与設計を行わせた。</p> <p>「バイタルサイン実習」では、シミュレータによる心音・呼吸音・腸音の正常、異常音の聞き分けを行った。「デバイスを使用した服薬指導」では、インスリンの自己注射手技説明、吸入器 (キューバル) の吸入手技説明を行わせた。</p> <p>「paper patient (糖尿病、高血圧、認知症) の症例検討」では SGD のタスクを務めた。 「デバイスを使用した服薬指導」インスリンの自己注射手技説明、吸入器 (キューバル) の吸入手技説明の修得度を受講生同士で行わせた。</p> <p>無菌製剤処理実務経験を有する薬学系教員として、第 1 回注射剤の無菌調製研修において、「輸液の基礎」「無菌製剤の投与方法及び配合変化等」(座学) と無菌調製実技指導 (実習) を担当した。</p> <p>感染症における薬学的介入方法と抗 MRSA 薬の解析方法について説明を行った後、モデル感染症症例を題材として感染部位、起因菌、重症度、抗菌薬の選択について小グループ単位で考えさせ、抗菌薬の処方設計プランを立案させた。結果をグループ単位で発表した後、討論させた。引き続き、TDM 解析ソフトを用いて塩酸バンコマイシンの初期投与設計を行わせた。</p> <p>「卓上型無菌調製」では、午前中に卓上型無菌調製運用マニュアルの説明を行い、午後からは実際に模擬注射処方せんに基づく無菌調製と輸液ルートプライミングおよびライン接続を体験させた。</p>

平成 30 年度在宅アドバンス研修会 (三重県薬剤師会) 「バイタルサイン実習 (血圧測定)」 【講師】	2019	「バイタルサイン実習 (血圧測定)」では受講者同士でアネロイド血圧計を用いて触診法・聴診法にて血圧測定を行わせた。
平成 30 年度末就業薬剤師研修会 (三重県薬剤師会) 「バイタルサイン実習」「デバイスを使用した服薬指導」 【講師】	2019	「バイタルサイン実習」では、シミュレータによる心音・呼吸音・腸音の正常、異常音の聞き分けを行った。「デバイスを使用した服薬指導」では、インスリンの自己注射手技説明、吸入器 (キューバル) の吸入手技説明を行わせた。
平成 30 年度末就業薬剤師研修会 (三重県薬剤師会) 「paper patient (糖尿病、高血圧、認知症) の症例検討」「デバイスを使用した服薬指導」 【講師】	2019	「paper patient (糖尿病、高血圧、認知症) の症例検討」では SGD のタスクを務めた。 「デバイスを使用した服薬指導」インスリンの自己注射手技説明、吸入器 (キューバル) の吸入手技説明の修得度を受講生同士で行わせた。
2019 年度在宅アドバンス研修会 (三重県薬剤師会) 「卓上型無菌調製」 【講師】	2019	「卓上型無菌調製」では、午前中に卓上型無菌調製運用マニュアルの説明を行い、午後からは実際に模擬注射処方せんに基づく無菌調製と輸液ルートプライミングおよびライン接続を体験させた。
皮下注射手技、静脈採血手技修得 (フィジカルアセスメント学内実習) (大学院演習)	2019	今後の新たな薬剤師業務を予想し、ファントムを用いて、皮下注射手技 (ワクチン接種)、薬物血中濃度測定のための静脈採血手技と注意点を理解・修得させた。
Pharsight WinNonlin NLME 解析ソフト操作 (実践的医療薬学演習) (大学院演習)	2019	Pharsight WinNonlin NLME 解析ソフトを用い、架空データより薬物動態母集団パラメーターを算出した。
2019 年度第 1 回注射剤の無菌調製研修 (実技) (三重県薬剤師会) 【講師】	2019	無菌製剤処理実務経験を有する薬学系教員として、第 1 回注射剤の無菌調製研修において、「輸液の基礎」「無菌製剤の投与方法及び配合変化等」(座学) と無菌調製実技指導 (実習) を担当した。
2019 年度新任薬剤師研修会 (三重県病院薬剤師会) 「TDM と処方設計実技」 【講師】	2019	感染症における薬学的介入方法と抗 MRSA 薬の解析方法について説明を行った後、モデル感染症症例を題材として感染部位、起因菌、重症度、抗菌薬の選択について小グループ単位で考えさせ、抗菌薬の処方設計プランを立案させた。結果をグループ単位で発表した後、討論させた。引き続き、TDM 解析ソフトを用いて塩酸バンコマイシンの初期投与設計を行わせた。
2019 年度在宅アドバンス研修会 (三重県薬剤師会) 「無菌調製」 【講師】	2019	「菌調製」では、昼食中に CADD-Legacy® PCA ポンプ使用マニュアルの説明を行い、午後からは実際に模擬注射処方せんに基づく無菌調製と輸液ルートプライミングおよびポンプ設定を体験させた。
2019 年度末就業薬剤師研修会 (三重県薬剤師会) 「バイタルサイン実習 (シミュレータによる聴診、副作用チェック)」「デバイスを使用した服薬指導」 【講師】	2020	「バイタルサイン実習 (シミュレータによる聴診、副作用チェック)」では、シミュレータを用いて心音・呼吸音・腸音の異常音を聴診させた。 「デバイスを使用した服薬指導」インスリンの自己注射手技説明、吸入器 (キューバル) の吸入手技説明の修得度を受講生同士で行わせた。
2019 年度在宅アドバンス研修会 (三重県薬剤師会)「無菌調製」 【講師】	2020	「菌調製」では、昼食中に CADD-Legacy® PCA ポンプ使用マニュアルの説明を行い、午後からは実際に模擬注射処方せんに基づく無菌調製と輸液ルートプライミングおよびポンプ設定を体験させた。

職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項

事 項	年	概 要
1 資格, 免許, 特許, 受賞等 薬剤師免許取得 岐阜薬科大学 博士 (薬学) 日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師	1988 2011 2018	第 247290 号 博乙第 340 号 第 07-0021-3 号 (更新 2 回目)
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等 鈴鹿医療科学大学 薬学部 第 8 回 健康講座 (市民公開) 主催: 鈴鹿医療科学大学 薬学部 文部科学省 平成 26 年度 大学における医療人養成推進居宅事業 「医療人養成としての薬学教育に係る教材や教育方法の開発に関する調査研究」 医療人養成としての薬学教育に関するワークショップ 指導薬剤師資質向上のためのタスクフォーススキルアップ研修 in 東海 第 56 回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 東海 改訂コアカリに準拠した薬学実務実習を考える「東海地区 大学教員 FD 研修会 (ワークショップ)」 東海地区薬学教育者アドバンスワークショップ in 三重 2016 年度 東海地区タスクフォーススキルアップ研修会 平成 28 年度薬学と社会教科担当教員会議 第 57 回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 東海 日本 TDM 学会第 51 回セミナー	2012 2014 2015 2015 2016 2016 2016 2016 2016 2017 2017	「知って得するトクホの話」と題して健康食品と特定保健用食品の違いについて概説を行った。 「医療人養成のための薬学教育に必要なコミュニケーション教育 および心理学・行動科学教育」について少人数グループ討議を行い、具体的な教育方法と評価方法を作成し、発表した。 改訂モデル・コアカリキュラムに対応した認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップを構築するために企画された、「指導薬剤師資質向上のためのタスクフォーススキルアップ研修 in 東海」に受講者役として参加した。 タスクフォース兼第 1 日目「評価」プレゼンテーション担当として第 56 回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 東海の運営に携わった。 新しいガイドラインに示された大学-病院-薬局の連携した実習の課題についてグループ討議しプロダクトを発表した。また、「チーム医療への参画」に対するアウトカムである「医療機関や地域で多職種が連携・協力する患者中心のチーム医療に積極的に参加する」に必要とされる具体的な能力の指標 (コンピテンシー) の作成を行った。 タスクフォースとして東海地区薬学教育者アドバンスワークショップ in 三重の運営に携わった。 2016 年度 東海地区タスクフォーススキルアップ研修会に参加し、タスクフォース技術の習得に努めた。 本学の「薬学と社会」教科の実施内容 (カリキュラムデザイン等) や、その特徴について発表し、他大学の担当教員と情報交換を行った。 タスクフォース兼第 2 日目「対応」プレゼンテーション担当として第 56 回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 東海の運営に携わった 日本 TDM 学会第 51 回セミナーにおいて、実務経験を有する大学教員としてスキルアップワークショップ (心不全症例から学ぶ) では、架空症例を用い TDM の知識を処方監査から処方立案、医師とのディスカッションに繋げる技法を参加者に修得してもらった。臨床的・アカデミック・ジョイントワークショップでは、司会・発表を務め、グループ参加者の TDM 業務に関する問題点を抽出し、その改善策を協同で模索した

平成 29 年度「認定実務実習指導薬剤師を対象とした OBE 準拠のカリキュラムプランニング及びこれに基づいた実務実習に関する伝達研修会」	2017	タスクフォースとして平成 29 年度「認定実務実習指導薬剤師を対象とした OBE 準拠のカリキュラムプランニング及びこれに基づいた実務実習に関する伝達研修会」の運営に携わった。
第 63 回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 東海	2017	タスクフォース兼第 2 日目「第 1 日目の評価報告」担当として第 63 回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 東海の運営に携わった タスクフォースとして平成 29 年度「認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップ」の運営に携わった。
平成 29 年度「認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップ」	2017	日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学会大会 2017 の実行委員として会の運営に協力した。
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学会大会 2017	2017	タスクフォースとして平成 30 年度「認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップ」の運営に携わった。
平成 30 年度「認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップ」	2018	
第 35 回日本 TDM 学会・学術大会のシンポジウム 3「抗てんかん薬 TDM 標準ガイドライン 2018 の概要」	2018	第 35 回日本 TDM 学会・学術大会のシンポジウム 3「抗てんかん薬 TDM 標準ガイドライン 2018 の概要」にてシンポジストとしてフェノバルビタールとトピラマートを担当した。
第 69 回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 東海	2018	事務局として第 69 回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 東海の運営に携わった
平成 31 年度「認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップ」	2019	タスクフォースとして平成 31 年度「認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップ」の運営に携わった。
第 77 回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 東海	2020	タスクフォース兼第 2 日目「問題点への対応」担当として第 77 回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 東海の運営に携わった

研究業績等に関する事項

著書名、報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書) ・病気と薬 パーフェクト BOOK 2011 ・薬局 実践 薬効モニタリング ・ベッドサイドの臨床薬学 周術期の薬学管理 ・病気と薬 パーフェクト BOOK 2012 ・スタートアップ服薬指導 ・月刊 薬事 VOL. 55 No. 4 ・腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師テキスト ・処方提案につなげる薬物療法ハンドブック ・腎臓病薬物療法トレーニングブック ・	共著 共著 共著 共著 共著 共著 共著 共著 共著	2011 2011 2012 2012 2012 2013 2013 2015 2015	南山堂 南山堂 南山堂 南山堂 南山堂 じほう じほう 南江堂 じほう	P 431-434. 林雅彦、大井一弥 他 P 95-100. 山田勝士、大井一弥、林雅彦 他 P 242-250. 林雅彦、大井一弥 他 P 385-388. 林雅彦、大井一弥 他 P 206-214. 大井一弥、林雅彦、八重徹司 他 P 168-174. 林雅彦、八重徹司 P 96-98. 林雅彦、八重徹司 P 50-53. P 66-69. P 100-103. P 272-281. P 330-333. 寺町ひとみ、林雅彦 他 P 98-109. 林雅彦、八重徹司
(報告書等) ・ ・ ・				
学術論文 学会発表等の題名		発表者名	発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等	

<p>(学術論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩酸バンコマイシンの間歇的腹腔内投与において排液中濃度を HPLC 法と FPIA 法で比較した CAPD 症例 イトラコナゾールの吸収に及ぼす食事と酸性飲料の影響 抗がん剤誘発遅延性悪心・嘔吐に対する低用量ステロイドの有用性の評価 抗がん剤誘発遅延性悪心・嘔吐の治療法 抗がん剤が誘発する食欲不振と味覚閾値の変化の関係 抗がん剤の副作用対策 化学療法によるシビレに関する評価票の有用性の検討 The relationship between the peak plasma concentration of methotrexate (MTX) and MTX dose per lean body mass on high-dose-MTX rapid infusion method used for primary CNS lymphoma patients Clonazepam use for prevention of acute and delayed vomiting induced by cisplatin-based chemotherapy for lung cancer ステロイド皮膚外用剤と保湿剤の併用タイミングによるステロイド角層内取り込みへの影響に関する研究 薬学部におけるバイタルサイン教育を取り入れた早期体験学習の評価 アルベカシン硫酸塩静注後の滲出液中濃度と血中濃度を測定した 4 症例 The optimal conditions for use of the hydration patch, Win Back®, on human skin 患者向医薬品ガイドの有効な活用に向けた調査研究 三重県伊勢地区保険薬剤師における在宅医療の推進に対する阻害要因に関する研究 モンテカルロ・シミュレーションを用いたパレニクリン酒石酸塩の腎機能および体重に応じた投与量の検討 経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤の自己貼付に対する患者意識と手段的日常生活動作との関係 —パーセル指数 60 点以上の高齢患者において— Tenofovir disoproxil fumarate による体表面積未補正 eGFR 低下の危険因子に関する検討 女性を対象としたバンコマイシン初回投与設計における血清クレアチニン、アルブミン濃度および理想体重を用いた腎機能推算式(大幸 	<p>林雅彦, 北村晴生, 向井賢司</p> <p>林雅彦, 北村晴生, 小川英美喜</p> <p>久田 達也, 長坂 沙織, 林雅彦, 他 11 名 花井 里美, 荒川 裕貴, 林雅彦, 他 11 名</p> <p>曾我 未央, 長坂 沙織, 林雅彦, 他 3 名</p> <p>荒川 裕貴, 石川 元章, 林雅彦, 他 6 名</p> <p>Masahiko HAYASHI, Haruo KITAMURA, Nobutaka YAMAKAWA, 他 4 名</p> <p>Masahiko HAYASHI, Yusuke TAKAO, Chihiro HATA, 他 2 名</p> <p>大井一弥, 三谷宣靖, 林雅彦</p> <p>林雅彦, 西村嘉洋, 横山聡, 他 2 名</p> <p>林雅彦, 大井一弥, 山田里子, 他 6 名</p> <p>Kazuya OOI, Satoshi YOKOYAMA, Masahiko HAYASHI, 他 4 名</p> <p>山本美智子, 松田勉, 林雅彦, 他 4 名</p> <p>林雅彦, 大井一弥</p> <p>林雅彦, 八重徹司, 柴田和彦, 他 4 名</p> <p>林雅彦, 高井靖, 八重徹司, 他 1 名</p> <p>森尚義, 林雅彦, 大井一弥, 他 2 名</p> <p>林雅彦, 岩本卓也, 村木優一, 他 4 名</p>	<p>TDM 研究. 25, P 41-46, 2008</p> <p>TDM 研究. 25, P 114-12, 2008</p> <p>愛知県病院薬剤師会雑誌. 35, P34-37, 2008 愛知県病院薬剤師会雑誌. 35, P31-33, 2008</p> <p>愛知県病院薬剤師会雑誌. 36, P33-35, 2009</p> <p>愛知県病院薬剤師会雑誌. 37, P23-27, 2009</p> <p>TDM 研究. 27, P1-9, 2010</p> <p>Biol. Pharm. Bull. 33, P1907-1910, 2010</p> <p>西日本皮膚科. 73, P248-252, 2011</p> <p>医療薬学. 38, P339-349, 2012</p> <p>The Japanese Journal of Antibiotics. 65, P207-215, 2012</p> <p>薬理と治療. 40, P1005-1010, 2012</p> <p>社会薬学. 32, P8-15, 2013</p> <p>日本老年医学会. 51, P466-469, 2014</p> <p>日本腎臓病薬物療法学会誌. 4, P3-8, 2015</p> <p>医療薬学. 41, P463-470, 2015</p> <p>日本腎臓病薬物療法学会誌. 5, P17-23, 2016</p> <p>TDM 研究. 34, P126-131, 2017</p>
---	--	--

<p>式) の評価 (査読付)</p> <p>喫煙開始リスク因子の候補と将来の喫煙意思の関係ー医療・福祉系大学の喫煙未経験の未成年学部新入生を対象とした調査ー</p> <p>ほか 3 件</p>	<p>林雅彦, 八重徹司, 藤原正範.</p>	<p>禁煙科学. 13, P1-6, 2019</p>
<p>(学会発表等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲンタマイシン硫酸塩の TDM を行った CAPD 腹膜炎クリニカルパス症例 ・ 塩酸バラシクロビル血中濃度と改訂長谷川式簡易知能評価スケールの推移をみたアシクロビル脳症の 1 症例 ・ 皮膚・軟部組織感染症患者におけるアルベカシン硫酸塩静注後の創部滲出液中濃度と血中濃度モニタリング ・ 患者向医薬品ガイドの効果的な利用に関する調査研究 ・ モンテカルロシミュレーションを用いたバレニクリン酒石酸塩の体重・腎機能別処方設計に関する検討 ・ 自立している (Barthel Index 60 以上) 高齢者における貼付剤自己貼布の満足度と手段的 ADL の関係 ・ Tenofovir による腎機能障害の危険因子に関する検討 ・ バンコマイシン初回投与設計時における理想体重、血清クレアチニン及びアルブミン濃度を用いた腎機能推定式の評価 Cockcroft & Gault 式との比較 ・ 腎機能を考慮したメトホルミン塩酸塩の適正使用に関する研究 モンテカルロ・シミュレーションによる検討 <p>ほか 16 件</p>	<p>林雅彦, 寺町ひとみ, 土屋照雄</p> <p>林雅彦, 高尾雄介, 鈴木厚人, 他 4 名</p> <p>林雅彦, 大井一弥, 山田里子, 他 3 名</p> <p>山本美智子, 松田勉, 林雅彦, 他 3 名</p> <p>飯嶋吉貴, 林雅彦, 柴田和彦, 他 3 名</p> <p>林雅彦, 大井一弥</p> <p>森尚義, 林雅彦, 八重徹司, 他 1 名</p> <p>林雅彦, 岩本卓也, 山崎大輔, 他 6 名</p> <p>八重徹司, 林雅彦, 大井一弥</p>	<p>日本 TDM 学会・学術大会. 2009</p> <p>日本 TDM 学会・学術大会. 2010</p> <p>日本 TDM 学会・学術大会. 2012</p> <p>日本社会薬学会. 2012 年</p> <p>日本腎臓病薬物療法学会. 2013 年</p> <p>日本老年医学会東海地方会. 2014 年</p> <p>日本エイズ学会. 2014 年</p> <p>日本 TDM 学会・学術大会. 2015</p> <p>日本糖尿病情報学会. 2016 年</p>
<p>(その他)</p>		